

社会資本総合整備計画
八幡浜中心地区まちづくり計画

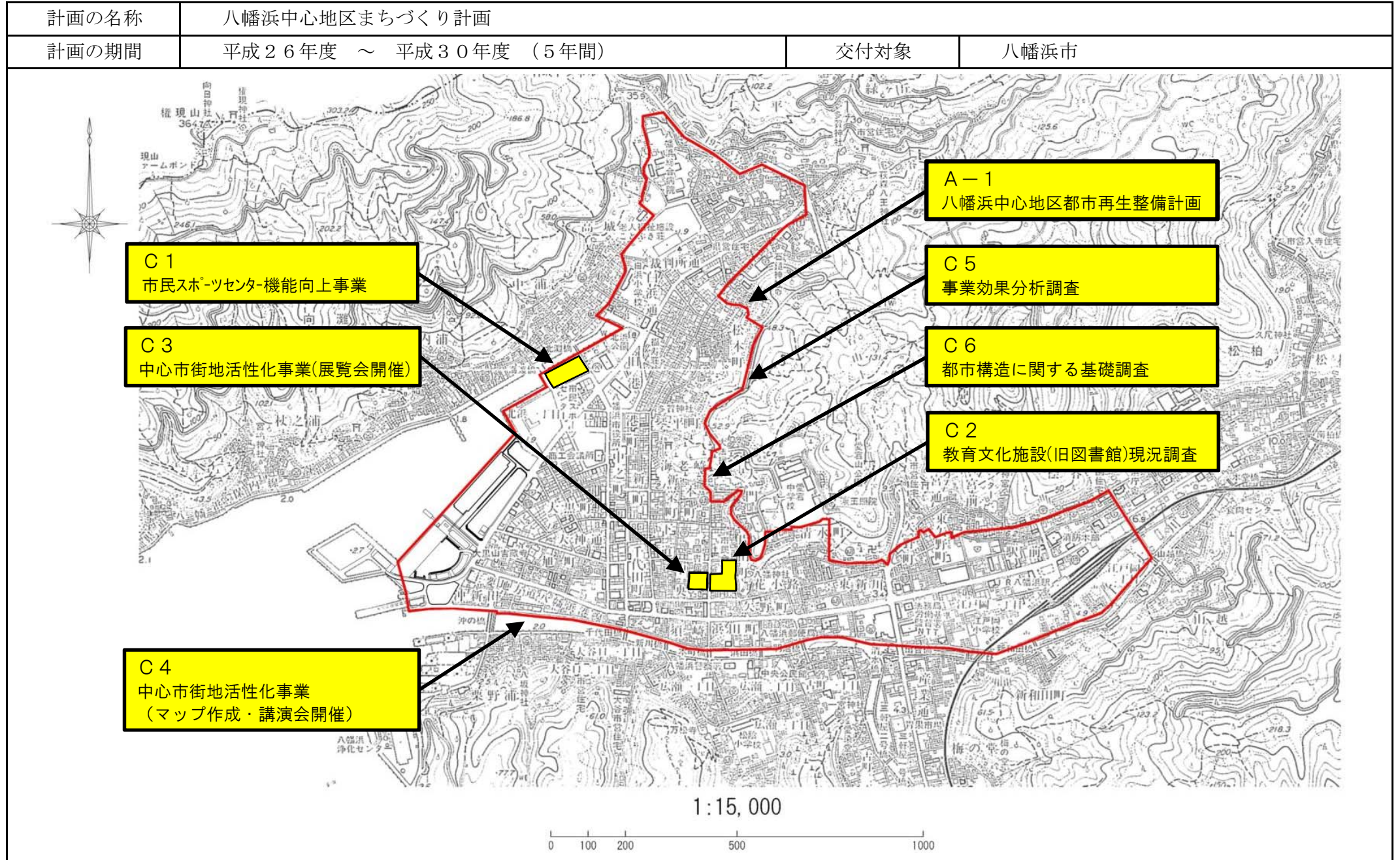
平成28年 2月

愛媛県八幡浜市

社会資本総合整備計画

平成28年 2月12日

計画の名称	八幡浜中心地区まちづくり計画										重点計画の該当	○			
計画の期間	平成26年度～平成30年度(5年間)										交付対象	八幡浜市			
計画の目標	<p>「八幡浜中心地区まちづくり計画」では、八幡浜市の3つ交通拠点(J R八幡浜駅・八幡浜I C・八幡浜港)に囲まれ、既存の商業・業務機能が集積している中心市街地の都市中心と、行政・文化・観光拠点が集約され、都市中心を補完する副中心を併せた区域を「中心拠点区域」に位置付け、各拠点間の連携・ネットワークの強化を図り、都市機能を集約化することで、『交流拠点を有機的に結び、魅力ある』みなとまち八幡浜の再生』を目指している。</p> <p>中心拠点区域の八幡浜中心地区内においては、民間活力を利用した商業施設や既存商業地区内のP R Eを活用した新たな交流拠点を誘導施設として整備する。これにより各拠点間の回遊性の向上を図り、地域の賑わい形成を再構築する。</p> <p>一方、八幡浜市健康づくり計画の方針である、健康づくり支援のための環境づくりとして、中心拠点区域内にウォーキングコースを整備する。これにあわせ、コースマップ作成、講演会開催など、市民の健康増進を目的とした健康都市関連事業を展開することで、健康都市としての魅力の向上を図る。</p>														
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地(商店街)の歩行者数を、449人/日から500人/日へ増加。 市民スポーツセンターの利用者数を、12,081人/月から13,700人/月へ増加。 生活習慣を改善する意欲がある人の割合を、67.6%から75.1%へ増加。 避難生活のために必要な市の備蓄量(食糧)を、840人分/3日間から1,100人分/3日間へ増加。 														
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考		
											当初現況値(H25)	中間目標値(H28末)		最終目標値(H30末)	
	都市機能強化を図った各拠点間の連携、中心市街地活性化の度合いを「商店街の歩行者数」で評価する。										449人/日	—		500人/日	
	温浴施設整備により発生した影響度の度合いを隣接施設である「市民スポーツセンターの利用者数」で評価する。										12,081人/月	—		13,700人/月	
	健康都市としての魅力向上の効果の度合いを「生活習慣を改善する意欲がある人の割合」で評価する。										67.6%	—		75.1%	
	都市における防災方向上において、避難者や帰宅困難者への支援として、被災時に必要な食糧の準備度合で評価する。										840人分/3日間	—	1,100人分/3日間		
全体事業費	合計(A+B+C+D)		1,042.0百万円	A	834.0百万円	B	0百万円	C	208.0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	20.0%		
交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
A-1	都市再生	一般	八幡浜市	直接	—	保内地区都市再生整備計画事業	A=105ha	八幡浜市	2016	2017	2018	2019	2020	834.0	
合計													834.0		
B 関連社会資本整備事業(該当なし)															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容(延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H26	H27	H28	H29	H30		
合計													0		
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
								港湾・地区名	H26	H27	H28	H29	H30		
C-1	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	市民スポーツセンター機能向上事業	市民スポーツセンター改修の実施	八幡浜市			175			175.0	
C-2	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	教育文化施設(旧図書館)現況調査	郷土資料館への活用可能性調査	八幡浜市	2					2.0	
C-3	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	中心市街地活性化事業(展覧会開催)	展覧会の開催	八幡浜市	12					12.0	
C-4	活動支援	一般	八幡浜市	直接	—	健康都市関連事業(マップ作成・講演会開催)	マップの作成及び講演会の開催	八幡浜市			8			8.0	
C-5	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	事業効果分析調査	基幹事業の効果分析調査	八幡浜市					2	2.0	
C-6	計画・調査	一般	八幡浜市	直接	—	都市構造に関する基礎調査	都市構造の分析調査	八幡浜市	9					9.0	
合計													208.0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			
C1	市民スポーツセンターの機能向上整備と北浜温浴施設整備(誘導施設)を一体的に実施することで、両施設の集客力の増加による経済効果、市民の健康増進も期待される。														
C2	旧図書館の現況を調査して、基幹事業である教育文化施設と一体的に整備することで、教育文化施設の機能向上が図れ、交流人口の増加につながる。														
C3	展覧会開催等の各種事業を効果的に実施することで、交流人口が増加し、中心市街地の活性化が期待できる。														
C4	健康都市の環境づくりとして、ウォーキングコースマップの作成や専門家派遣による講演会を開催することで、市民の健康増進が期待でき、健康都市としての魅力向上につながる。														
C5	今後のまちづくりを検討するための効果分析調査を行う。														
C6	都市構造に関する基礎調査を実施することで、集約都市形成の推進が期待できる。														
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考			



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市再生整備計画事業等タイプ)

計画の名称:八幡浜中心地区まちづくり計画 事業主体名:八幡浜市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①都市再生基本方針との適合等	
1)まちづくりの目標が都市再生基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
2)まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1)まちづくりに向けた機運がある。	○
2)住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
3)継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)交付期間中の計画管理(モニタリング)を実施する予定である。	○
3)計画について住民等との間で合意が形成されている。	○